

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成19年12月5日（水）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成１９年１２月５日		開 会
		午前９時１０分
		閉 会
		午前９時４５分
出席者	委 員	加 藤 明 徳 東 條 恵美子 △米 山 定 克 阿 部 善 博 中 村 昌 治 江 成 直 士 小 池 義 和 大 沢 洋 子 久保田 隼 夫 ○岸 浪 孝 志 藤 井 克 彦
	議 員	議長 稲 垣 稔 副議長 大 上 和 夫 オブザーバー 小 林 正 明 八 木 大二郎
欠席者	な し	
説明 の た め の 出 席 者	な し	
事務局 職 員	今田議会事務局長 佐藤議事調査課長 河本同課議事班担当課長 佐藤同課同班主幹 今村同課同班主幹 小宮同課同班副主幹 中村同課調査班担当課長 田中庶務課長	

協 議 事 項	
傍 聴 者	あり
署 名	委員長　　岸　浪　孝　志

午前9時10分 開会

○岸浪委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は11名で定足数に達している。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○岸浪委員長 異議ないので、これを許可する。

無所属クラブ、日本共産党から、議運を開いてほしい旨申し入れがあったので、急遽集まってもらった。

案件は、昨日の議運のその他で、無所属クラブと日本共産党から出された件である。

昨日は、私の判断であのようにさせてもらったが、本日、急遽、議運を開催することについて、皆様方の温かい理解をいただいたということで、おわびをしながら、感謝を申し上げたいと思う。

議長から発言が求められているので、願います。

○稲垣議長 金曜日だったか、毎日新聞の紙面以降、3日間ぐらいの新聞各紙に報道され、小星総務局長からの座間都市建設局長の処分発表後、NHKでも報道された件について、一言説明したい。

実は昨日、藤井委員から声があったとき、もし指名してもらえれば説明したいと思っていたが、きょう、その場を与えてもらったことに感謝したい。

この経緯については、各新聞紙上で報道されたとおりだが、11月25日に、会派の重立った人たちで、キャンプ座間のゴルフ場の新しいコースがボールが外へ出ないように方法に改造された、あるいは、今も多少出ているということでネットのフェンスの様子、日曜日でもあるし、休暇の中で、そういうものを視察しながらプレーしようという誘いを受け、私も議長に就任させてもらい、連日、土日にも休みのない中で、25日があいていれば、やろうという誘いをもらい、視察かたがたでやるならということで参加した。私ども会派の人たち、それ以外の方も含めて、11名でプレーした。その事実関係については、間違いなく、そのとおりである。

報道に関して話をすると、実は、私が直接に接触というのは、一度もない。すべて電話で、短時間で、NHK、3紙、取材を受けた。毎日新聞以

外は、こういうことでいいのかという、追認、確認の電話だった。報道されたように、私の言葉としては、プライベートのことではあったが、今、米軍再編に伴い新司令部が設置されようという微妙な状況を考えれば、やや思いが至らず、軽率であったということを述べた。そして、今もその気持ちには変わらない。反省しているところである。このことが市民に誤解を与えたとすれば、重ねて、大変軽率だったと思っているところである。

私自身は、市内米軍基地の存在は、本市のまちづくりに大きな支障を来しており、その全面返還は、まさに本市の市是であって、市民協などの活動を通じ、課題解決に向けた取り組みを積極的に行ってきたつもりだし、今も私の地元のキャンプ座間のゴルフ場の側道の返還等、積極的に活動しているし、今後もそのことを継続していく考えは全く変わらないということをし、添えて、以上、概略、経過と私の今の心情である。今後は、市民の皆様に誤解を与えないように、慎重な行動をとっていきたいと思っているので、し、添えたいと思う。

○岸浪委員長 今、議長から、経過説明及び今の気持ちを込めた言葉が述べられた。私は、今の言葉で十分意があらわれていると思うが、いかがか。

藤井委員。

○藤井委員 今の議長の話をついて、報道に接したときから、やはり、今度のことを通じて、今まで以上にいろいろなことを考えなければいけない、例えばゴルフ場の利用の問題についても、改めて考えなければいけないと思っているが、ただ、今一番大事なことは、このことを通じて、相模原市の米軍基地問題の取り組みについて、市民が誤解を持ったり、議会にも不信感を持ったりすることが一番いけないことだと思う。そういう意味で、時期的にはちょっとおくれた感はあるが、本日、議長自身から、こういうことが話され、気持ちが表明されたことは受けとめたいと思う。

ただ、私もきのうの朝、NHKテレビを見ていたときに、まず7時30分台の地方ニュースで見て、その後8時3分ごろの全国版でも同じ内容が出たということで、やはり、このことに対する市民感情、国民感情の受けとめ方の大きさを改めて感じさせられた。そういう意味では、この議会運営委員会は、確かに議会の正式な機関だし、公開された記録も残る場だが、

やはり、事の性質上、本会議場での議長発言を、ぜひお願いしたい。昨日の代表質問での市当局とのやりとりでは、加山市長は、ある意味、毅然とした態度を示して、毅然とした処分と基地問題への今後の取り組みをきちんと表明したと受けとめたので、もう一方の議会側も、それに劣らず、毅然とした、今後も一致団結して行政とも市民とも基地問題に一生懸命取り組んでいくと、だれが見てもそうだと思うような形を、ぜひとってほしいことを強くお願いしたいと思う。

○岸浪委員長 今、共産党から、本会議でという話があった。このことについては皆さんと話をしなければいけない部分だと思うが、いかがか。新政クラブ。

○久保田（隼）委員 経過を見ても、プライベートな行事であったと判断して、本会議場でやるべき問題ではないと思う。

○岸浪委員長 公明党。

○加藤委員 プライベート云々ということは除いて、これまで、それぞれの人たちの思っていたこともあろうかと思うが、私としては、今の議長のこれまでの経緯の説明、そして、議運という公式な場の中での謝罪を含めた状況で、いいのではないかと思う。

○岸浪委員長 民主クラブ。

○小池委員 公明党と一緒にだが、やはり、議運の場で謝罪してもらったということで、本会議ではいいのではないかと思う。

○岸浪委員長 市民連合。

○江成委員 会派の方へも説明をもらったし、今、議運の公式の場で、議長から話をもらった。プライベートなスタートだったとはいえ、いろいろ市全体の課題の中で、やはり迷惑をかけたという明確な話もあったので、それをしっかり受けとめて、私どもとしても、それを会派に持ち帰ってきちっと伝えて、了解を得るということでいいのではないかと思う。

○岸浪委員長 無所属クラブ。

○東條委員 うちは、会派の中で、きちっと話をまとめていない。私、委員としてということだが、視察とプライベートが一緒になっていることに対して、ちょっと違和感を感じた。プライベートであればプライベートでいいと思うし、視察であれば視察ということでなければいけないのでは

ないか。公務とプライベートが一緒になっている中でどうなのかという話を考えると、やはり、そのところをきちっと説明しなければいけないのではないかと思った。

私のところには何人かの方から電話もあって、どういうことなんだということなので、そういう意味では、市民に、きちっとわかりやすく発言していかなければいけない。議場で何らかの形でコメントするのがいいのではないかと思う。

○岸浪委員長 無所属クラブから、議場でという話も出てきたが、ほかの会派の皆さんは、議運の公式の場ということで、意見が分かれてしまった。取り扱いが非常に微妙になってきているが、視察とプライベートを一緒くたにという部分については、私から新政クラブに、きっちり申し入れたいと思う。そういうことで理解してもらえればと思う。

日本共産党から出された本会議場でというのも理解はするが、各会派の皆さんの意見も表明されたし、この議運は公式の場ということであれば、今回は、理解してもらえれば、この場でおさめてもらえればと思うし、今後、議長からも話があったとおり、基地の問題にきっちり取り組んでいくことをお互いに誓い合いながらと思うが、いかがか。

小林議員から発言が出ているが、いかがか。――

時間がないので、端的にお願いします。

○小林（正）議員 発言の権利をいただき、ありがとうございます。

端的に言って、議会運営委員会は確かに公式の場だが、決して、こういった問題を議論する場ではないことを理解してもらえればと思う。その誤解があって、公式の場だから、何でもそこで解決できるという問題ではない。経過とかについては、もしやるのだったら、会派代表者会議あるいは全協を開くべきで、議会運営委員会は議会内部の問題としてどうあるべきかというのをおぜん立てする場としてはいいと思うが、ここで云々という結論を出すべき場では決してないと思うし、むしろ私は、議長のためにも、市民のためにも、今後の基地返還運動の展開のためにも、議会の場できちっと発言する議長であってほしいと思う。私も1票入れたので、それだけ苦言しておきたいと思う。

しかも、会員権という問題がある。これは構造的な問題で、決してプラ

イベントな問題ではないと思うので、プライベートな問題というふうに矮小化してはいけない問題がある。会員権の経過とか歴史的経過があると思う。これは市民の皆さんに非常に誤解を与える。この議論はずっと継続的にされたのではないかと思うので、その点、よろしくお願いします。

○岸浪委員長 いいか。――

藤井委員。

○藤井委員 意見が分かれた中で、委員長の提案は、議場で発言するということではなくて、議運での発言にとどめるということならば、私の独断で、それでいいと言うわけにはいかないので、会派に一たん持ち帰って検討しないと結論は出せない。

○東條委員 同じである。

○岸浪委員長 本会議を開かなければいけないので、一たん開いて休憩に入り、それから一般質問に入ることになると思うが、そういうことで確認していいか。――

では、そういうことで対応したい。

休憩する。

午前 9 時 3 0 分 休憩

午前 9 時 3 7 分 開議

○岸浪委員長 再開する。

持ち帰った 2 会派の結論の報告をお願いします。

無所属クラブ。

○東條委員 代表者会議を開いてもらおうという話を。基本的には本会議でお言葉を。

○岸浪委員長 共産党。

○藤井委員 持ち帰って検討という中で、すぐに呼び出されてしまったので、議論できていない。ただ、そういう面では、本会議でお願いしたいということと、先ほど小林正明議員からも発言があったので、議会全体としてどうあるべきかということを話し合うという点では、いろいろな場もあっていいのかなと、今の無所属クラブの提案もあったので、そういうことも含めて、よく議論してほしい。結論は変わっていない。

○岸浪委員長 議長。

○稲垣議長 これ以上いろいろ協議をして迷惑をかけるのも大変心苦しいし、私としても、そういうことであれば、本会議の場で説明させてもらえればと思っている。お願いします。

○岸浪委員長 今、議長から、本会議でという発言があったが、いいか。――

では、議長から本会議で説明するという事で、よろしくお願ひしたいと思う。

事務局。

○佐藤議事調査課主幹 本会議での議長の発言ということなので、再開して、すぐに議長からの発言、それから日程に入る。

○稲垣議長 整理するのに、少し時間をもらいたい。

○岸浪委員長 いいか。――

では、再開時間は迫って連絡する。（「ちょっと1件発言を」と呼ぶ者あり）

皆さん、どうか。――

では、許可する。

○八木議員 今、議長の方で、整理の時間をということなので、先ほど議長から、経緯も含めて謝罪をもらったので、それ以上は本会議でやってもらうということだが、市民の皆さんが思っている会員権はどうするのかということもそこで一緒に話した方が――これは議長の判断だが――きちとした形になるのではないかと思う。

○岸浪委員長 今、意見をもらったが、それは議長の判断に任せたいと思う。

いいか。――

それでは、以上で議会運営委員会を閉会する。

午前9時45分 閉会